

# 福音公園づくり（ヤングボランティアセンター）

平成 26 年 12 月 21 日（日）～平成 27 年 3 月 14 日（土）

## 1 これまでの取組

福音公園は、国道 11 号線高架下にある松山市の児童公園です。雨の日でも遊べる反面、日中でも暗い場所です。子どもたちが明るく元気に遊べる公園にするために、「大人のもよって守られた全天候型の楽しい公園にする」というコンセプトのもと、福音小学校、地域住民、愛媛県ヤングボランティアセンターとえひめ子どもチャレンジ支援機構が、「福音公園を考える会」を構成し、平成 22 年度から公園づくりにチャレンジしています。メインとなる橋脚アートは、今回で通算 5 作目となり、アルミ複合板で制作を始めた平成 23 年度からの作品や、公園の名称をデザインした園名板が公園に設置されています。



平成 24 年度作品  
「未来への花束」



平成 25 年度作品  
「Happy Balloon」

## 2 現地見学会&ミーティング①

平成 26 年 12 月 21 日（日）場所：福音小学校・福音公園

最初に、「福音公園を考える会」から、福音公園づくりの今までの経緯について説明を受けました。参加した高校生は公園づくりの目的と橋脚アートに込められた思いを理解しました。その後、福音公園に行って現地見学を行い、現状や課題を確認しました。福音小学校の会議室にもどってから公園づくりについて話し合いをした結果、今年度は 2 枚のパネルにヒーローと怪獣を描き、テーマを「みんなのヒーロー」にすることに決定しました。また、ヒーローのマントには、福音小学校の児童の「元気や勇気をもらった言葉、明るくなった言葉」を入れた星を貼るようにしました。そして、橋脚アートは松山南高等学校砥部分校の生徒が制作し、橋脚アート公開イベントの企画はヤングボランティアセンターの高校生スタッフが担当することになりました。



現地見学



パネルについて話し合い

### 3 ミーティング②

平成 27 年 3 月 1 日（日）場所：ヤングボランティアセンター

橋脚アート公開イベントに向けて、児童と行うレクリエーション活動の準備をしました。内容は、ストラックアウト・キックターゲット・昔の遊び（けん玉やお手玉）に決定しました。また、児童と楽しく交流するために妖怪体操を一緒に踊ることにしました。頑張った児童にはキャラメル味のポップコーンやぶんぶんゴマをプレゼントすることにしました。決定したことをチラシにして、福音小学校の児童に公開イベントの案内をしました。



イベント準備

### 4 橋脚アートの制作

平成 27 年 3 月 4 日（水）～9 日（月）場所：松山南高等学校砥部分校

松山南高等学校砥部分校の生徒有志が、ヒーローと火をふく怪獣を 2 枚のパネルに描きました。公園に設置したとき、パネル前のベンチに座った児童をヒーローが腕を伸ばして守るような構図にしました。「正義の心を持った大人になってほしい」という思いを込めました。福音小学校の児童から集めた 140 枚のメッセージはヒーローのマントに貼り、怪獣のふく炎は手形を押して表現しました。後日保護のためコーティング作業を行い、完成しました。

### 5 橋脚アート公開イベント

平成 27 年 3 月 14 日（土）場所：福音公園

橋脚アートの公開イベントには、多くの児童や地域住民の方が参加しました。最初に松山南高等学校砥部分校の生徒が絵の内容や描いた感想を児童に話しました。また愛媛県イメージアップキャラクターのみきゃんも登場し、イベントを盛り上げました。児童は、パネルのメッセージの中に自分の書いた言葉を見つけたり、記念撮影をしたりして楽しみました。また、高校生とレクリエーション活動をして充実した時間を過ごしました。



平成 26 年度作品  
「みんなのヒーロー」



砥部分校生徒からの説明



キックターゲット



昔の遊びコーナ